

# H A R T

56

HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

兵庫県立美術館

あの榎忠が帰ってくる。  
 2年前の神戸ビエンナーレの展示は、序章にすぎなかった。  
 神戸を拠点に数々の伝説的な展覧会とパフォーマンスを行い、  
 アートの枠からはみ出し続けてきた異人も、  
 いまやその一挙手一投足がアート界の注視的。  
 兵庫県立美術館の地はかつて製鉄所であった。  
 鉄塊の魂をもつ榎は、この場所に惹かれ、ついに大規模な個展の開催を決意。  
 本物の葉莢が、断ち切られた鉄材が、溶けた鉛が、機械部品の山が、  
 巨大な鉄パイプが、美術館を埋め尽くす。その重量、数十噸。  
 はたして美術館は、この重量に耐えられるのか？  
 はたして美術館は、鉄の野生を抱えることができるのか？

えのき ちゅう

## 榎忠展

美術館を野生化する

(RPM-1200) 2006-09年 撮影：金子治夫

**1%er, オトキチの世界**  
 (榎忠が推奨するカスタム・オートバイの特別展示)  
 10月21日(金) - 23日(日)  
 3階企画展示室回廊にて

こどものイベント  
**「チュウさんと大砲を作ろう」**  
 (詳しくはこどもプログラム欄をご覧ください)  
 10月29日(土) 10:30~15:30  
 小学4年生以上(保護者同伴)・中学生30名  
 要事前申込・有料

佐渡裕(指揮者)・榎忠・養豊(当館館長)  
**トークショー「美術と音楽」**  
 11月18日(金) 18:00~  
 展示会場にて(定員200名) 要観覧券

学芸員によるギャラリー・トーク  
 10月22日(土)、11月12日(土) 16:00~(約45分)  
 会場入口に集合 要観覧券

ミュージアム・ボランティアによる解説会  
 会期中の毎週日曜日 11:00~(約15分)  
 レクチャールームにて(定員100名) 聴講無料

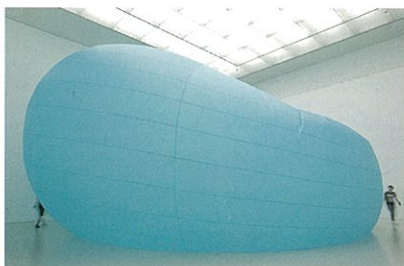
2011.10.12[水]~11.27[日]

観覧料

一般 1,200(1,000)円、大学生 900(700)円、高校生・65歳以上 600(500)円、中学生以下無料  
 ( )内は前売りおよび20名様以上の団体料金(高校生・65歳以上は前売りなし)  
 ※障害のある方とその介護の方1名は各当日料金の半額(65歳以上除く)  
 ※コレクション展の観覧には別途観覧料が必要。(本展とあわせて観覧される場合は割引あり)  
 ※前売券は10月11日まで販売します。会期中は前売券を販売いたしません。

神戸ビエンナーレ 2011 招待作家展 REFLEXIONEN  
 ひかり いろ かたち + チャンネル2

10・1[土]>11・23[水・祝] 会期中無休



松井崇朗  
 参考写真：豊田市美術館の展示《君の天井は僕の床》  
 One Man's Ceiling is Another Man's Floor 2011年  
 photo 山本紘



ユリス・シュミューデル  
 参考写真：「ピロウ・ゼロ (Below ZERO)」 展会場(デュッセルドルフ) 2010年